

# 緊急時あわてずあせらず110番

緊急の対応を必要としない電話による相談などは…安心の相談ダイヤル#九一一〇番

一一〇番は、事件・事故などをいち早く警察に知らせるための緊急通報電話です。一一〇番の利用件数は年々増加し、国民の安全な生活には欠かすことのできないものとなっています。毎年1月10日は「一一〇番の日」。万一のとき、すぐに警察の助けが呼べるよう、一一〇番の正しい利用方法を知っておきましょう。

## 「一一〇番」は緊急通報用電話です

事件や事故が発生したそのとき、すぐに警察の助けを呼ぶための一一〇番。平成15年中、全国の警察で受理した一一〇番通報は約932万件。前年に比べ約42万件も増加しています。これは、3.4秒に1回、国民14人に1人の割合で通報があったことになります。

一一〇番通報で最も多いのは、交通事故や駐車違反などの交通関係に関する通報。ほかに、犯罪情報、泥棒、けんか、酔っぱらいや迷子などの通報もあります。

緊急の対応を必要としない  
ご相談は「#九一一〇番」へ

一一〇番は緊急通報用電話です。

しかし、運転免許証や交通渋滞などについての照会や、近隣のパトロールを強化してほしいなどの要望・苦情、虚偽の通報など警察による緊急の対応を必要としないものが、一一〇番通報全体の約4分の1を超えています。緊急ではない用件が一一〇番に殺到すると、本当に緊急に対応しなければならぬ事故や事件の対応に支障をきたすおそれがあります。

緊急の対応を必要としない電話による相談などは、警察の相談ダイヤル「九一一〇番」を利用しましょう。また、各警察署にも犯罪などの被害の未然防止を図るための警察安全相談窓口があり、ストーカー、配偶者からの暴力、悪質商法など、住民生活の安全に関する相談を受け付けています。

## ● 110番通報のポイント ●

110番通報すると警察官が次の内容について問いかけます。質問に、あわてずに、落ち着いて答えてください。

Q.何がありましたか？事件ですか・事故ですか。  
A. (例)「交通事故です」「どろぼうです」

Q.いつですか？  
A. (例)「たった今」「10分くらい前です」

Q.場所はどこですか(今どこにいますか)？  
A. (例)「〇〇駅の北側です」  
「〇〇町〇番からです」

Q.犯人は？(特徴、逃走方向など)  
A. (例)「車は〇〇町のほうへ逃げました」

Q.今どうなっていますか(どんな様子ですか)  
A. (例)「ケガ人がいます。救急車を呼びました」

Q.あなたの住所、氏名、電話番号は？  
A.「(住所) (氏名) (電話番号)です」

携帯電話からの一一〇番通報は  
通報場所をきちんと伝える

最近では、携帯電話からの一一〇番通報が急増しています。平成15年中は一一〇番通報全体の半数以上を占め、比率は過去10年間で9.6倍に上昇しました。

携帯電話からの一一〇番通報は、隣県の警察にかかったり通話が途中で切れたり、場所の特定が困難な場合があります。通報場所を正確に

把握することができないと、受理や指令にも時間がかかります。

携帯電話から一一〇番通報をするときは、次のことに気をつけましょう。所在地や番地、目標物などを確認する  
通話中はできるだけ場所を移動しない

通話終了後に電源を切らない  
車の運転中は携帯電話を使用せず、必ず車を停めてから電話をする